



君の名は。
日常の先へ

『小説君の名は。』
(新海誠/著 角川文庫)
この本は主人公、三葉と瀧の二人の視点から物語が展開していきます。日常と非日常が交錯し、出会うはずのなかった二人の友情、絆に目が離せません！三葉と瀧のやり取りや美しい情景描写、日常の一步先の新しい世界観！この本で日常から抜け出してみませんか!? (鹿沼高 Mさん)



クローバー・レイン
大崎栢

本がもっと読みたくなる!

『クローバー・レイン』
(大崎栢/著 ポプラ文庫)
大手出版社に勤めている彰彦は、偶然にも素晴らしい原稿と出会う。しかし、それは落ち目の作家のものだった?!自分の手で本にしたいと願うが、様々な困難があつて…。編集者、作家、書店員の本への熱い思いに引き込まれること間違いなし!本の見方が変わるかもしれません。
(宇都宮北高 Eさん)



にいさん
Freire

悲劇の天才画家ゴッホとその弟テオの心揺さぶる物語

『にいさん』
(いせひでこ/作 偕成社)
今では「現代美術の先駆者」と称されるゴッホ。しかし、生前は高い評価を得られず、売れた絵は1枚だけだったと言われています。そんな彼と彼を支えた弟テオの生涯を鮮やかな絵とともに描いています。
(鹿沼東高 Tさん)

Travel to the Future

~新たな出会い~

本とおして新たな世界と出会う。
さあ、本と一緒にまだ知らない世界へ旅に出てみよう!!

今すぐ勉強したくなる本



『受験のシンデレラ』
(和田秀樹/著 小学館文庫)
3月10日、東大の合格発表の日。高校を中退した真紀には関係がないはずだった。しかし、カリスマ予備校講師五十嵐との出会いにより、「東大合格」を目指すようになる。だけども五十嵐は余命1年半を告げられていて…。受験生に読んでほしい本です!
(宇都宮東高 Yさん)



『わたしはわたし。そのまますけ止めてくれるか、さもなければ放つて。』
(アルファポリス編集部/編 アルファポリス)
この本は女性有名人のこぼれ話や世界の格言を、子どもたちの美しい写真と一緒に紹介しています。辛い時、嬉しい時、どんな時に読んでいたって構いません。目にする度ハッとさせられ、心が動かされる素晴らしい本。一度、手に取ってみてはいかがですか?
(大田原高 Sさん)

あなたに贈る、
81の素敵なことば



どうなる日本!
『民王』
(池井戸潤/著 文春文庫)
ある日、現職の内閣総理大臣と大学生の放蕩息子の中身が入れ替わってしまった!総理になった息子は漢字の読み間違いをマスコミに報道され、さらに他の大臣にも入れ替わりが起きる…。政治の世界で起こった事件の真相とは?
(栃木農業高 Yさん)



本当の貧しさとは何か、豊かさとは何か
『世界でもっとも貧しい大統領 ホセ・ムヒカの言葉』
(佐藤美由紀/著 双葉社)
この本は、世界で一番貧しい大統領ホセ・ムヒカ氏が、自身の人生経験に基づいて、豊かさとは何か、人生で大切なこととは何かを著した本です。また、大統領になったいきさつや、さらには、国民や世界に向けて語った言葉に込めた思いも綴られています。
(栃木農業高 Tさん)



世界を知る
『高校生からわかるイスラム世界』
(池上彰/著 ホーム社)
一時期テレビで毎日のように聞いた「イスラム国」と「イスラム教」について、池上彰さんが「高校生でもわかる」ように解説。池上さんの実際の取材がもとになっているため、「イスラム国」の本当の姿を知ることができます。
(大田原高 Yさん)



『働くこと』について
考えるあなたへ!!
『働き方は「自分」で決める』
(古市憲寿/著 講談社文庫)
働くということは、「会社に雇われて働く」というだけではない!!組織に入らず、また雇ったり、雇われたりしないまま働くことだってできる。若者たちに働くことは何なのかを考えさせる一冊です。
(壬生高 Rさん)



この本を読んだ人は必ず選挙に行くはずだ。
『高校生のための政治学』
(杉山眞木/著 東洋出版 続編あり)
18歳になると選挙権が与えられるが、このことに興味、関心を持っている高校生がどれだけのいるだろうか。一言で言うと、「平和」を目指す政治家を選ぶことだろう。戦争のない社会をつくるにはどうしたらいいかを分かりやすく教えてくれる一冊。
(学悠館高 Sさん)



分からないことで溢れている。
表紙をめくればはじけ出す。

知らない世界
知りたい社会